

産業衛生技術部会 2024年度第一回企画運営委員会 議事録（案）

日時：2024年11月7日 10:00～12:00

場所：オンライン（ZOOM）

参加者：飯田裕貴子，牛澤浩一，大久保茂子，加藤博子，川上貴教，久保田裕仁，齊藤宏之，中原浩彦，中村修，中村憲司，橋本晴男，東久保一郎，山野優子（五十音順）

議事録（案）

1. 第98回日本産業衛生学会（仙台）における部会企画についての報告がなされた。
2. 第45回日本産業衛生学会全国協議会（徳島）における部会企画について，下記の通り提案があった。なお，徳島の全国協議会では，企画の公募は行われない見込みである旨，報告があった（部会企画は例年通り実施）。
 - 倫理に関する企画（中村修）：ヒトを対象とした研究の倫理審査について
 - 化学物質のリスクアセスメント（川上）：結果の読み解き方について様々な立場から議論
3. 2025年度の部会予算案について，会計担当（飯田）より部会の予算状況と今後の使用方針についての説明があった。現在，予算の残高が多いことが問題視されていることから，有効な活動を通じて残高を減らしていく必要性が指摘された。案として，研修会の開催や外部講師の招聘が挙げられた。
4. 部会体制について，橋本部会長より説明があった。次期の部会長選出のプロセスと，技術部会からの理事選出の重要性が示された。なお，関東地方会では理事の定員が1名増えることも併せて報告された。
5. 教育研修担当（川上）より，帯広（帯広畜産大学）での保護具に関する研修会の提案がなされた。実習を中心とした企画を検討中。体験型学習の効果が評価される一方で，遠隔参加の可能性や，アクセスの悪さを懸念する意見がなされた。
6. 国際担当（中原）より，マレーシアで開催された ANOH の参加報告があった。次回は台湾にて 2025/8/19～20 に開催。
7. 橋本部会長より，IOHA 理事会に代理参加した際に打診された話として，大阪万博での安全衛生イベントへの参加要請についての報告があった。ひとつは安全衛生専門職と他の諸団体，ステークホルダーとの協力による活動推進をテーマに，橋本・中原・貴志の3名で技術部会代表として対応する方針。もうひとつは，世界的なオキュペイショナルハイジニストの価値と展望，というテーマで，これは日測協に依頼が行く模様。

以上。